

今、三多摩の社会教育は…2022

コロナ後の社会教育の新たな展望を見すえた語りあいを！

私たちは、新型コロナウイルスによる感染の心配がある中でも、感染対策を取りながら、権利としての社会教育の実践に向けて、様々な知恵と工夫の共有により新たな地平を築く努力を重ねてきました。しかし今、三多摩各市では、行財政改革や公共施設再編という名のもとに、施設の有料化、民間活用（指定管理者制度の導入等）、公民館事業の縮減、社会教育施設の改廃、専門的職員の非常勤化・雇止めなどの動きが静かに進んでいます。この背景には、採算性を最優先するコンサルタント会社の提案を鵜呑みにする自治体運営、コロナ禍を口実に市民への説明を尽くさない行政の姿勢が見え隠れします。

そうした中で、ウイズコロナの時代に、住民の自由な学びを保障する場としての公的な社会教育施設の役割が今あらためて問われているのではないのでしょうか。コロナ禍の中、健康を維持しながら、学習の権利の保障、知る権利の保障、集会や表現の自由をどのように守っていくのか、交流し合い、議論を深めていきたいと思えます。事態は深刻ではあっても、交流集会の中で、各市の現状と課題を語り合っ、明日からの活動へのヒントを学びあっていきましょう！

- ◆日時 3月19日（土）午後2時～4時30分
- ◆会場 国分寺市立本多公民館（国分寺駅北口徒歩8分）
- ◆内容 今、三多摩地域で起きていること…



各市のリレートーク（東大和市、小平市、狛江市などでの動き）
現状と課題を語り合い、これからの社会教育について考えましょう。

「CAFE」＝「Community Access for Everyone」
（みんなが集まるコミュニティの場の意味）

カフェといっても飲食はしません。ソーシャルディスタンスをとった情報交換会です。

- ◆定員 30名 ※事前の申し込みをお願いします。
マスクを着用してください。体調がすぐれない方は参加をご遠慮ください。
新型コロナウイルス感染症拡大状況によっては、中止とする場合があります。
- ◆主催 社会教育推進全国協議会三多摩支部
- ◆申込み・問合せ 松田 090-8317-4237

E-mail: santama.syakyo@gmail.com

